

校報 ひかり

校訓

自律 敬愛 創造

自ら学ぶことを志す
自ら律することを志す
自ら鍛えることを志す

「学校評価アンケート」の結果について

教務 岡部仁司

本校では年2回、7月と12月に生徒・保護者・教職員を対象にアンケートを実施し、本校に対する評価を行っています。そして、そのアンケート結果を分析し、指導方法の改善を図り、これからの教育活動に反映させたいと考えています。今回は12月に実施しました「学校評価アンケート」の結果を、7月の調査と比較をしながら、本年度の重点課題をもとに報告します。

本年度の重点課題

(1) 確かな学力を育む学習指導

「教室は学習に集中しやすい環境かどうか」について78%の生徒が「集中しやすい環境だ」と答えています(図1)。引き続き小集団学習を効果的に取り入れるなど授業全体の改善を図りながら学習意欲の向上を図っていきます。

また、家庭学習について多くの生徒が「充実した家庭学習ができています」と答えています。

しかしながら同様の保護者に対する質問では前回よりもわずが2ポイント上がった56%しか、「家庭学習の習慣がついてきた」と感じられていません。

全ての生徒にとってわかりやすい授業づくりや、生活しやすい学級づくりを一層推進し、個に応じた課題の与

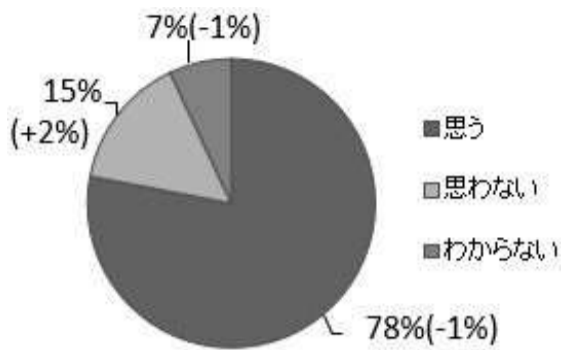


図1 教室は学習に集中しやすい環境か (生徒アンケートから)

え方など、家庭学習の時間や内容について、各学年で検討をしていきます。

(2) 豊かな人間性を育む道徳教育、人権教育

前回同様94%の生徒が「いじめをしない、させない、許さない」と答えています。また、95%の保護者が「子どもたちは「友達と仲良く学校生活を送っている」と感じられています(図2)。加えて教職員においては、同内容質問に対し21ポイントも上昇しています。



図2 友だちと仲良く、楽しい学校生活を送っていると思えますか (保護者アンケートから)

しかし、生徒アンケートでは6%、教職員においては19%が「思わない」「わからない」と回答しています。

これからも、いじめ防止基本方針に基づき、定期的なアンケート調査や教育相談の実施等により、いじめの積極的な認知と、未然防止、早期発見、早期対応における組織的対応の充実を図っていきます。

(3) 健やかな心と身体を育む特別活動、部活動

前回同様96%の生徒が「積極的に部活動に参加している」と答えています。保護者についても1ポイント上がった96%が「積極的に参加している」と回答されています(図3)。さらに教職員では15ポイントも上がっています。

体力や技能の向上を図る目的以外にも、好ましい人間関係の構築を図り、自己肯定感、責任感、連帯感を育み、生徒の多様な学びの場としての部活動をこれからもめざ

していきます。

(4) 特別支援教育の推進

前回調査よりも3ポイント上がった90%の生徒が「先生は私たちの意見をよく聞いて、どうすればいいかを一緒に考えてくれている」と答えています。さらにほとんどの生徒が「先生はよいことはほめ、いけないことはしかつてくれる」と答えています。そして教職員の95%が「個に応じた決め細やかな対応ができています」と答えています(図4)。しかしながら「わからない」を含め4ポイント上がった30%の保護者から「家庭と学校とは十分に連絡・連携が行えていない」という回答があり

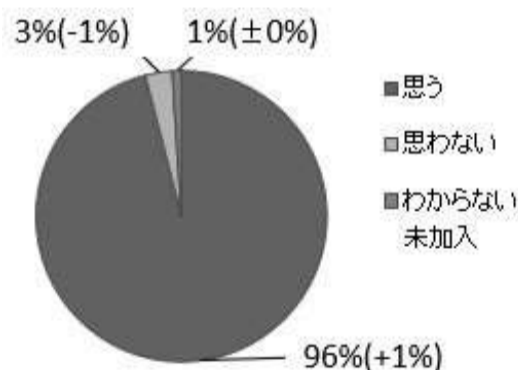


図3 部活動に積極的に参加していると思えますか (保護者アンケートから)

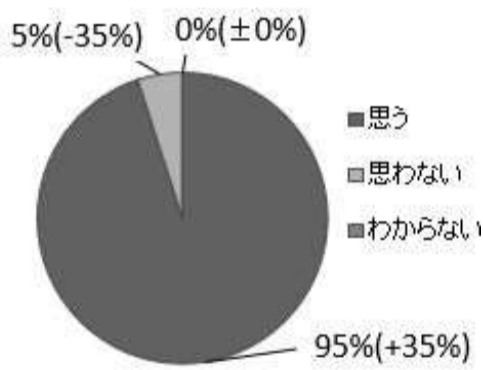
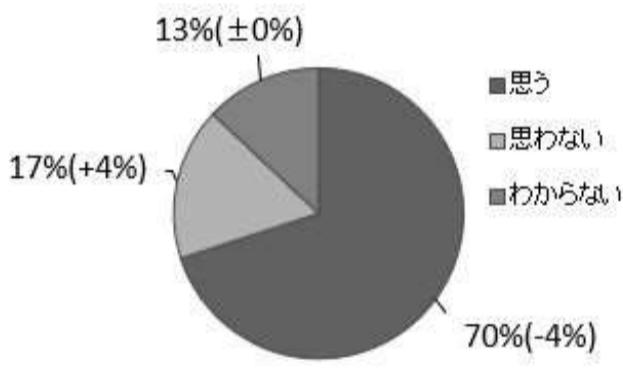


図4 個に応じたきめ細やかな対応ができていますか (教職員アンケートから)

図5 家庭と学校とは十分に連絡・連携が行えていると思えますか (保護者アンケートから)



(5) 地域総がかりの東中教育の推進

ました。また「保護者の声に学校は耳を傾けていると思うか」という質問についても8ポイントの減少が見られました。このことを深くとらえ、今後も一人ひとりに寄り添う指導と家庭との連絡の充実などを通して、生徒たちにとって安心・安全で過ごしやすい学校づくりを進めていきます。

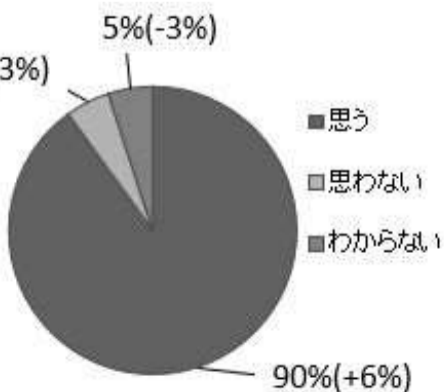


図6 学校に行くのが楽しいか。山崎東中学校は好きか (生徒アンケートから)

6ポイント上がった90%の生徒が「学校に行くのが楽しい、山崎東中学校が好きだ」と答えています(図6)。そして7月調査同様93%の生徒が「地域の人が元気な挨拶ができています」と答えています。子どもたちが安心して活力のある生活を送ることができるよう、保護者の皆さんや地域の皆さんとの連携を深め、そしてこれからも「学校評議員会」「山崎東中学校教育推進協議会」をはじめ、「校報」「学年通信」「学級通信」「ホームページ」等を通して情報提供を進めていきます。

これらアンケート結果をさらに分析・研究し、これからも保護者や地域の方から信頼される開かれた学校、山崎東中学校をめざしていきます。

集計データ数	生徒アンケート	226件
保護者アンケート	205件	
教職員アンケート	22件	
R1・12月実施		

※グラフの表記の仕方について
各円グラフ内の数値は12月の調査ポイントを表しています。()内の数値は7月の調査からの±(加減)を表しています。

防災訓練「1・17は忘れない」に参加して

一年一組

私は、中学生になってから初めての防災訓練と阿曾先生の授業を受けました。普段はバスでの登校なので、どこに避難したらいいのかわからないけど、運転手さんや周りの人の話を聞いて、考えて行動できるようにしていきます。私が住んでいる地域は、山と川に囲まれているし、公民館や小学校もハザードマップで確認すると危険な場所があるので、避難所ですら危ないのではないかと感じました。

震災にあわれた方々は、本当に辛くて苦しい思いをされたことだと思います。いつも通り楽しく過ごせるはずが、たったひとつの地震で全く違う生活になってしまつのは考えられません。大きな被害にならないようにするために、今できることをやっておこうと思います。

いつ何が起きるかわからないという不安はありますが、今日学んだことを生かしていきます。



一年一組

今日の防災訓練では、二〇〇人を超える生徒が一斉に避難しました。その結果は「三分十二秒」でした。みんなとても速く避難できたと思います。

中学生になって初めての防災訓練でしたが、とても緊張感があり、動きも早く良かったと思います。今回は「地震が発生し、第一理科室から火災が起った」という想定でした。でも、もしかしたら本当の震災の時は、もっと状況がひどいかもかもしれません。そんな中でもしっかりと逃げ切るための「訓練」なので、今日よりもっとよくなりたいと思います。

そして、六時間目には阿曾先生の特別授業がありました。「111111時、111111行動をとったらいいか」と、いろいろな場合から起る災害を考えたたりして、「なるほい」「や」確かに「と思うことがたくさんありました。私は家に帰ったら、お父さんやお母さんたちと「111111したら、111111避難する」ということを決め、いざという時にしっかりと対応できるようにしたいと思います。

教育講演会 トータルマナー研究所長 河本栄味子さん

「挨拶はコミュニケーションの第一歩」を聞いて

一年一組

今日は普段の生活の「当たり前」を学習しました。挨拶や姿勢を直すということは日常生活で当たり前のことです。でもそれを完璧にできていないと思います。相手のことを考え、気持ちを込めて伝える挨拶が、良いのだなと改めて感じました。姿勢を直すということもとても大切です。姿勢が悪いと自分の印象が悪く見えて、お辞儀するときにも、だらしないお辞儀になってしまいます。自分はある程度はできているのだからと思ってしまうのですが、今日の講演を聞いて、自分のお辞儀、挨拶はまだまだだめなのだなと思いました。細かいところまでこだわり、いつも相手に対して明るい気持ちで接することを目標にして、これからがんばります。私の憧れであるCAの方の講演を聞いてとても勉強になりました。そして、CAはやっぱりカッコいいなと思いました。

一年一組

今日の教育講演会で、今まで挨拶を適当に終わらせていたことに気づきました。これからはお辞儀をゆつくりとして、丁寧に挨拶ができるように心がけて生活したいと思います。先輩や先生が話されている所をすれ違う時は、挨拶していいのかわからないから挨拶ができなかったり、男の先輩に挨拶ができなかったりした時があるので、迷ったときも絶対挨拶するように頑張ります。また、自分が先輩という立場になったとき、挨拶について教えることができるようになりたいです。一年生の間に、自分から進んで大きな声ではっきり挨拶ができるようにしたいと思いました。三年生になって面接が近づくと、姿勢も意識して、面接してくださる人に良い印象をもっていたらいいように頑張ります。一年生のうちに教育講演会を聞いて良かったと思いました。

一年一組

僕は、教育講演会を受けて、あいさつはとても大事だなと思いました。今までにも何度かあいさつや人との「コミュニケーション」の話を聞いたことがありましたが、今回、改めて聞いてみると、もっと直していかなければいけない所がいくつもありました。



僕が一番直していかなければいけないと思ったのは、姿勢です。僕は、ご飯を食べたり、何か行事がある時は、最初だけ背すじを伸ばしたりなど意識しているけれど、だんだん時間が過ぎていくと、だらっとした姿勢になっていきます。河本さんの話の中で、日頃から姿勢を正し話し方や身だしなみなどをきちんとしていないと、高校や仕事の面接の時に困ると言われていました。その話を聞いて、もっと意識して、常に上品でひかえめで、身だしなみに気をつけたいと思います。今回の講演で学んだことは、これからは必要になるので忘れないようにしたいと思います。

二年二組



講演を聞いて、相手に話すときは大きくはっきり話すことが大切だと思います。河本さんははっきり大きな声で話されていて、すごく聞き取りやすかったです。そして、まっすぐな姿勢で立って話され、礼の姿勢もきれいで、とても驚きました。最初CAさんが機内で話されるアナウンスの英語や、お話もとても聞き取りやすくて、私も相手の人に聞き取りやすい話し方ができるように普段から心がけようと思いました。また、見た目も清潔感があると、見た人も嫌な気分にならずにすむので、髪をきれいに結んだり、制服を着崩したりしないようにしようと思いました。座っている時は立っている時以上に気が緩みそうになるので、座っている時も気を張っておこうと思います。

二年三組

今日の教育講演会で礼儀の話聞いて、いつも先生や先輩に礼儀正しく挨拶をしているつもりだったけれど、全然できていないのだなあと気づきました。河本さんはつま先、手など一つ一つのことに気をつけていると言っていました。自分もいつもやっている挨拶ではなく、今日教えてもらった挨拶の仕方を活用して普段の生活に生かしていこうと思いました。私は家以外でも椅子の背もたれにもたれかかったりするので、学校での集会で、姿勢を直すように心がけたいです。やはり将来どの仕事についても絶対礼儀が必要になるので、今のうちからそういうことに気をつけて、将来の役に立つようにしたいです。今日教えていただいたことを学校や将来に生かせるようにしていきたいです。

二年一組

「55・38・7」この数字の意味は、私たちが初めて会う人を判断するときの法則です。第一印象の55%は目から入ってくる情報(その人の服装や髪形など)で、次の38%は耳から入ってくる情報(その人の声の大小やトーンなど)で、残りは言葉(話の内容)だと知りました。面接練習で先生方にも言われたけれど、今日の講演会でも聞いて、やはり第一印象は大切なんだなと思いました。あいさつは、「あかるく、いつも、さきに、つづける」を意識することです。身だしなみは、おしゃれとは違い、第三者の目を意識して、襟元やリボン、名札など細かい所に気をつけること、なども教えてくださいました。面接のときに役に立つことばかりです。今日教えていただいたことを忘れずに、日頃から気をつけて、面接の前にはしっかりと確認したいと思いました。

二年二組

今日の講演会で初めて知ったことは、「55・38・7」という数字の意味です。55は目で見た印象、38は耳で聞いた印象、7は言葉を聞いた印象だということです。講師の方があいさつの後、飛行機の機内でされるあいさつを日本語と英語でされて、「すごいな！カッコいいな！」と思いました。私は、指摘されるまで気づいていなかったけれど、あいさつするときに語尾が伸びたり、言いながら礼をしたりしていました。これからはきちんとできるように意識していこうと思います。今すぐに面接が差し迫っているわけではないけれど、今後、進学や就職のための試験を受けるときに役に立つと思います。たくさんの方の話を学べたので、学んだことを生かそうと思いました。

2・3月の予定

《2月》	
15日(土)	兵庫県新人駅伝大会
17日(月)	公立高校推薦・特色選抜入試
20日(木)	入学説明会・体験入学
22日(土)	公立高校推薦・特色選抜入試合格発表
25日(火)	期末テスト(～27日)
26日(水)	3年生愛校作業
27日(木)	3年生「命の授業」
《3月》	
2日(月)	3年生を送る会
9日(月)	3年生給食最終
10日(火)	第32回卒業証書授与式
12日(木)	公立高校一般入試
19日(木)	公立高校一般入試合格発表
23日(月)	給食最終日
25日(水)	第3学期終業式